

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、県高体連の関係者、先生方、家族そしてあなた方の協力で、明日から、県内高校生の最大のスポーツイベントである佐賀県高校総合体育大会及びNHK杯高校野球大会が2年ぶり開催されます。本校からも県総体には14競技に選手が出場します。出場する選手の皆さんは、もちろん生徒の皆さんは、今年の今頃を思い出してください。昨年度の卒業生の先輩方は4月に2度目の臨時休校で総体が開催されるかどうか先が見えない、その中で総体に向けて練習ができない不安や葛藤、そしてその後の県総体の中止、SSP杯の開催と精神的な動揺がありました。

今年度も新型コロナウイルス感染症の対策の為に県内外との交流など多くの制限がありましたが、明日から日頃から積み重ねたことを発揮する時、すなわち勝負の時が来ました。それぞれの競技の特性上、記録型と対戦型に分かれますが、いずれにしても戦いです。自分の力を最大限に出すために、一番大切なことは「気」の部分です。チャンスが来ても気持ちがなければ何も起こりません。「機は気の満ちる時」といいます。言い換えれば、気持ちが充実している時こそが、チャンスです。そのような観点では自分自身の気持ちやチーム内の気持ちを充実させることが大事です。具体的には、「自分を奮い立たせ、相手を圧倒する気魄」、「勝利にかける執念」を持つこと、そして「絶対に諦めない精神力」を前面に出して戦ってください。加えて、自分達が日々の練習で重ねてきたことをベースに、自分を信じること、仲間を信じること、そして、これまで支えていただいた家族をはじめ、周囲の方々への「感謝の気持ち」も併せ持って戦いに臨んでください。

総体まで後1日です。「気」をより一層高めるためには、今からでもできることは、チームのためにといい結束力を一人ひとりが心に刻むことです。その結束力がなければ、あえない最後の試合結果が待ち受けています。どの高校も高校総体に向けて努力をしています。最低限「最後まで諦めずにチームとして食らいついていく。」この気持ちだけは忘れずに試合に挑めないと、絶対にひよっとして起きません。結果的にチャンピオンチーム、個人は1つ、一人しかありません。スポーツには勝者より、敗者が圧倒的に多いのです。でもその敗者になったときに唐津西高校は本当に良いチーム、選手ですねと言われてほしいものです。その為には、やっぱり「最後まで諦めずにチームとして食らいついていく。」ことしかありません。それに負けたときこそ顔を上にあげてください。勝った時は相手を共に戦ってくれ「ありがとう」とリスペクトしてください。

最後に、選手の皆さん方が最高のコンディションで試合当日を迎えられること、そして、選手以外の生徒の皆さんも無観客となり応援に行けませんが、選手の皆さんに応援「全力を尽くせ」「頑張れ！」という「気」を心から送ってください。

頑張ってください。唐津西高校の健闘を祈念して激励の言葉とします。

令和3年5月27日 佐賀県立唐津西高等学校長 吉山耕一郎